

古河電工 高施工性のアルミ電線

官公庁案件で初採用

古河電工は30日、施工性の高いアルミ電線が初めて官公庁案件で採用されたと発表した。

採用された高機能型低圧アルミ導体CVケーブル「らくらくアルミケーブル」は軽く柔らかいことなどが特長。古河電工と子会社の古河電工産業電線が

開発・製造。昭和電線ホールディングスと古河電工が合弁する建設用電線販社のSFCCが販売している。

アルミ導体ケーブルが従来の銅導体ケーブルと同様の品質である」と判断され、今回官公庁設備への電源供給用として採用された。曲がりの多いルートだった

が延線作業は予定の3分の2の時間で完了。施工を担当した栗駒電気工事は「らくらくアルミケーブルは軽いだけでなく、柔らかく取り回しやすいため、延線だけでなく盤への挿入も楽だった」と話している。

端末処理については古河電工と古河電工産

業電線が主催するアルミケーブルの端末施工講習会の受講者が担当しており、スムーズに完了した。

らくらくアルミケーブルはこれまでに100件を超える建設現場で採用されており、優れた施工性で働き方改革の実現に貢献している。

